

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



自分の意見を述べる

最近、自分の意見をはっきりと述べましたか？それはいつですか？

香々美小学校では数年前から、毎年3回全校で「きらりっ子集会」が開かれます。この集会の目標は、より良い学校をみんなで作っていくこと。

まず、各学年が「学校をよくするために何を直していけばよいか」を話し合い、持ち寄ります。そして、どうすれば直せるか具体的に話し合っていきます。話し合いで決まったことは、運営委員会が中心となって全校で取り組みます。

ここで重要なのは、それぞれが意見を持って述べることです。誰も意見を述べなかったり、一人だけが意見を述べたのでは何もまとまりません。いろいろな意見が出てこそ活発に話し合いができるのです。

香々美小の子ども達のすごいところは、この話し合いで一年生から六年生までが理由も含めて意見を言えることです。それが高学年の意見であっても、反対の理由を

述べて意見が言えるのです。そんな時は、自分はどうかと考えます。

大人になって自分の意見を述べることは難しいものです。自分の意見は客観的ではなく、説得的ではないように思えてしまうと言えなくなります。そこでつい、「何かに書いてあったのですが」などと言って客観的に見えるように、意見を述べてしまうことが多くあります。何かを参考にして客観的に述べることも必要なことでしょ

うが、私は、子ども達のように自分の意見を「私はこう考える」とはっきり言ってこそ、何かを変えていくことができるのだと、このきらりっ子集会を見ていて強く思います。

こんな経験をして大きくなる子どもたちが、自分の意見をしっかりと述べ、これからの社会をよくする方法を話し合う姿を想像すると、ワクワクします。

そんな子ども達を一人でも多く育てられるように、これから香々美小学校では、全校集会が開催されることでしょう。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

香々美小学校 林田 裕子

のびのびひろば ～いろいろなお仕事があるね～

11月21日に子ども達の身近に働いている人たちに日頃の感謝の気持ちを込めて職場訪問しました。

3歳児はかがみの園、福祉センターへ、4歳児は芳野公民館、福福へ、5歳児は消防団の方へ、郵便配達の方、そして図書館の方へ「ありがとう」の気持ちを伝えながら、プレゼントを渡しました。

身近で働く人たちに目を向ける良い機会になりました。

また、おうちの人の仕事にも関心をもち、お父さんお母さんに「どんなことしようん？」と仕事の話を聞いたり、「ぼくのおとうさん〇〇しよるんで！ぼくもおおきくなったらいつしよにできるかなあ」など話したりしました。

図書館に行きました。



郵便屋さんへ



いつも
ありがとう。

芳野公民館の
館長さんへ



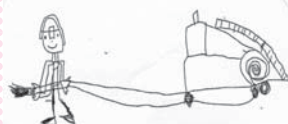
4、5歳児に「おおきくなったら、どんなしごとがしたいですか？」と聞いたところ...

ベスト5

(男の子)
・けいさつさん
・サッカーせんしゅ
・くるまやさん
・おすしやさん
・おもちゃやさん

(女の子)
・かんごしさん
・ケーキやさん
・おはなやさん
・アクセサリーやさん
・アイドル

いつもおてがみ
とどけてくれて
ありがとう。



鏡野町福祉センターに
行きました。



おしごとがんばって
ください。



かがみの園に行きました。

(認定こども園芳野保育園)